

# OKAYAMA SHINKIN 2023

第111期 業務報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



おかやま信用金庫



## 基本理念

---

おかやま信用金庫は、  
金融を通じて地域社会の発展に尽くし、  
皆様の豊かな暮らしの  
パートナーとして努力します。

## モットー

---

いつも、あなたと。

## スローガン

---

- 「協力一致」
- 地元密着の徹底
- 競争力の強化
- 人材の育成

## 当金庫の概要

---

創	立	1913(大正2)年4月2日
本	店	岡山市北区柳町1丁目11番21号
店	舗	31店舗
出	資	17億7千万円
口	数	35,516,712口
預	金	5,886億円
貸	出	2,486億円
代理業務貸付残高		80億円
会	員	46,047名
役	職	490名

(2023年3月31日現在)

# ごあいさつ



会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当金庫の業務運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫第111期の決算内容と業務概況をご報告申し上げます。

さて、2022年度の日本経済は、ウィズコロナ政策でスタートし、行動抑制を伴わない大型連休を迎えたことで、旅行や外食、対面型サービスの回復が明確になりました。一方で、夏場には感染が再拡大し、新規感染者もピークを更新、加えて国内自給率の低いエネルギーや食品の値上げがあったものの大きな落ち込みはなく、秋以降も全国旅行支援等でペントアップ需要が顕在化しました。

一方で、企業、特に地域の中小企業は、半導体を含め供給制約が続く中、原材料コストの高騰を価額転嫁できないまま、厳しい状況が続きました。また、金融面からみると、家計、企業ともに資金を積み上げて一歩も動かない籠城状態であり、お金が全く使われていない状況となりました。

このような状況の下、2022年度が最終年度となった当金庫の中期経営計画「おかやましんきんEmpathyプラン」を遂行し、「共感」を中軸としてお客様の事業価値・生涯価値の向上を目指し、SDGsへの取組みとともに、「バリューアップ型金融モデル」を継続的に実践してまいりました。

具体的には、3年ぶりに対面による「岡山県しんきん合同ビジネス交流会」を開催、約450先にのぼる企業・公的機関等のご参加をいただき、多くの商談が成立しました。ウェブ交流会「岡山CREATION」も継続しており、24時間いつでもつながる利点を生かし、対面の交流会の補完を図っております。また、若手経営者の会「おかやまPRODUCE」は10周年を迎え、防災や食、環境などをテーマにした10年間の取組みに対して、地域で共感を得られる活動が循環し始めたことと実感した年度となりました。

また、個人のお客様には、専門スタッフによる資産運用コンサルティング活動、各種セミナーの開催等により、問題点・課題を解決するライフプランを提案し、生涯価値向上をサポートいたしました。

こうした活動の結果、2022年度は、本業業務での収益力を表すコア業務純益は1,012百万円、経常利益は731百万円、当期純利益は662百万円を計上いたしました。また、経営の健全性を示す自己資本比率は、内部留保の増加に努め、自己資本の質を高めたことで10.79%を確保することができました。

当金庫は、2023年度より「共感」をベースとして、お客様との「共創」を目指す、新たな中期経営計画「おかやましんきんResilienceプラン」をスタートいたしました。変化が激しく、不確実性が高い現在の環境に適応し、地域とともに成長するため“レジリエンス”を高め、地域の皆さまの事業価値・生涯価値の向上を目指します。

同時に、役職員一人一人の「人間力」を結集し、信用金庫の存在意義である「中小企業専門性」「協同組織性」「地域性」という3つの特性を活かしながら、地域金融機関としての存在を示し、より一層の社会的責任を果たしていく所存でございます。

今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2023年6月

## おかやま信用金庫

理事長 **桑田真治**

# 貸借対照表

2023年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
現金	4,993	預金	588,634
預け金	81,877	当座預金	16,269
コールローン	12,000	普通預金	372,661
買入金銭債権	78,000	貯蓄預金	2,501
有価証券	210,551	通知預金	93
国債	18,576	定期預金	183,683
地方債	60,795	定期積金	9,341
社債	82,663	その他の預金	4,084
株式	550	譲渡性預金	972
その他の証券	47,965	借入金	10,657
貸出金	248,614	債券貸借取引受入担保金	17,511
割引手形	3,181	その他負債	1,636
手形貸付	13,315	未決済為替借	208
証書貸付	221,748	未払費用	235
当座貸越	10,369	給付補填備金	3
その他資産	3,931	未払法人税等	29
未決済為替貸	127	前受収益	122
信金中金出資金	2,390	払戻未済金	0
前払費用	36	払戻未済持分	71
未収収益	843	職員預り金	446
その他の資産	534	リース債務	194
有形固定資産	9,965	資産除去債務	48
建物	2,313	その他の負債	276
土地	6,834	賞与引当金	282
リース資産	178	役員賞与引当金	21
建設仮勘定	88	役員退職慰労引当金	263
その他の有形固定資産	550	その他の引当金	69
無形固定資産	53	再評価に係る繰延税金負債	607
ソフトウェア	35	債務保証	3,440
リース資産	15	負債の部合計	624,096
その他の無形固定資産	2	(純資産の部)	
前払年金費用	609	出資金	1,775
繰延税金資産	298	普通出資金	1,775
債務保証見返	3,440	利益剰余金	28,173
貸倒引当金	△2,681	利益準備金	1,862
(うち個別貸倒引当金)	(△1,819)	その他利益剰余金	26,311
資産の部合計	651,654	特別積立金	24,900
		当期末処分剰余金	1,411
		会員勘定合計	29,949
		その他有価証券評価差額金	△3,586
		土地再評価差額金	1,195
		評価・換算差額等合計	△2,391
		純資産の部合計	27,558
		負債及び純資産の部合計	651,654

# 損益計算書

2022年4月1日から  
2023年3月31日まで

科 目	金 額	千円
経常収益	5,475,031	6,947,591
資金運用収益	3,037,468	
貸出金利息	119,713	
預け金利息	34,382	
コールローン利息	1,344,918	
有価証券利息配当	938,549	
その他の受入利息	1,310,098	
役員取引等収益	424,093	
受入為替手数料	886,005	
その他の役員収益	93,797	
その他業務収益	60,137	
国債等債券売却益	2,680	
金融派生商品収益	30,980	
その他の業務収益	68,662	
その他経常収益	43,898	
貸倒引当金戻入益	384	
償却債権取立益	11,506	
株式等売却益	12,873	
その他の経常収益		6,216,154
経常費用	140,335	
資金調達費用	76,764	
預金利息	2,003	
給付補填備金繰入額	117	
譲渡性預金利息	57,074	
借入金利息	2,429	
債券貸借取引支払利息	1,945	
その他の支払利息	458,914	
役員取引等費用	93,478	
支払為替手数料	365,436	
その他の役員費用	270,291	
その他業務費用	268,055	
国債等債券売却損	2,236	
その他の業務費用	5,213,746	
経費	3,350,855	
人件費	1,665,770	
物件費	197,120	
税	132,867	
その他経常費用	18,273	
株式等売却損	114,593	
その他の経常費用		731,436
経常特別利益		26,982
固定資産処分益	26,982	
経常特別損失		28,624
固定資産処分損失	26,117	
減損損失	2,506	
税引前当期純利益		729,794
法人税、住民税及び事業税	67,476	
法人税等調整額	△492	
法人税等合計		66,984
当期純利益		662,809
繰越金(当期首残高)		798,075
土地再評価差額金取崩額		△49,711
当期未処分剰余金		1,411,173

# 第111期剰余金処分計算書

2022年4月1日から  
2023年3月31日まで

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,411,173,913 <span style="float: right;">円</span>
剰 余 金 処 分 額	653,275,063
普通出資に対する配当金	(年3%) 53,275,063
特 別 積 立 金	600,000,000
繰 越 金 ( 当 期 末 残 高 )	757,898,850

上記のとおり報告します。

2023年6月

理 事 長	桑 田 真 治	理 事	板 野 次 郎
専務理事	三 宅 崇 文	"	野 崎 泰 彦
常務理事	石 野 真 二	"	岩 坪 誠 次 郎
常勤理事	永 宗 稔 久		
"	若 林 薫		
"	高 橋 勝 則		
"	吉 本 雅 彦		
"	岡 部 聡		

前記各項の調査を遂げ其の正確なることを認めます。

2023年6月

常勤監事	赤 田 一 知	監 事	足 羽 憲 治
監 事 長	森 定 好		

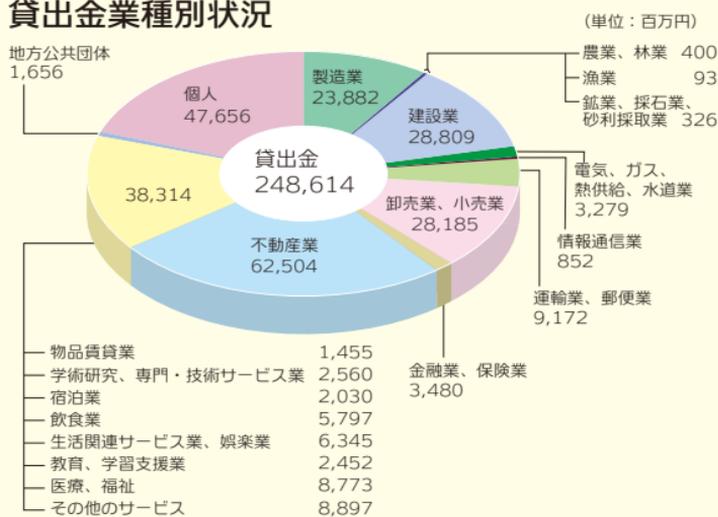
※監事 足羽憲治、長森定好は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。



## 経常利益・当期純利益の推移

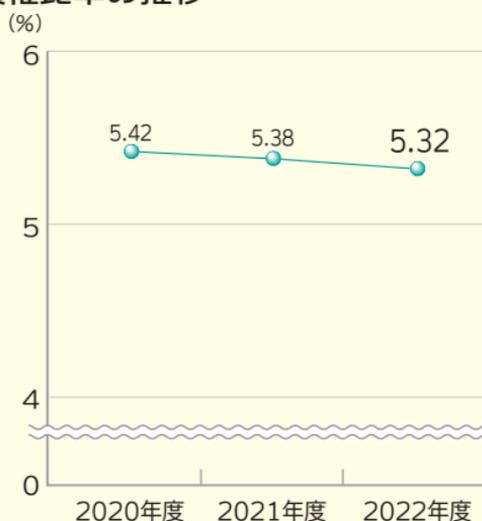


## 貸出金業種別状況



(注) 業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

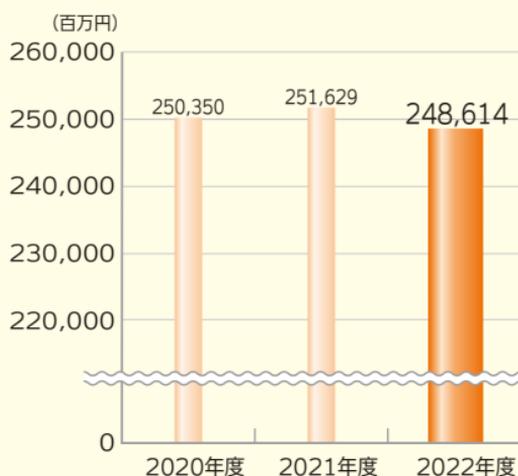
## 不良債権比率の推移



## 預金積金残高の推移



## 貸出金残高の推移



## 業務純益・コア業務純益の推移



## 最近3年間の主要な経営指標の推移

	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益(千円)	7,664,364	7,209,379	6,947,591
経常利益(千円)	759,049	1,223,237	731,436
当期純利益(千円)	613,533	940,905	662,809
純資産額(百万円)	31,177	30,470	27,558
総資産額(百万円)	696,338	721,839	651,654
預金積金残高(百万円)	577,961	584,700	588,634
貸出金残高(百万円)	250,350	251,629	248,614
有価証券残高(百万円)	186,973	217,832	210,551

## 金融再生法開示債権および信用金庫法開示債権の 保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	2021年度	2022年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,167	2,120
危険債権	10,859	10,738
要管理債権	875	701
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	875	701
小計(A)	13,902	13,560
保全額(B)	12,599	12,267
個別貸倒引当金(C)	1,967	1,819
一般貸倒引当金(D)	23	26
担保・保証等(E)	10,607	10,422
保全率(B) / (A)	90.62%	90.46%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E))	60.43%	58.80%
正常債権(F)	244,143	241,037
総与信残高(A) + (F)	258,045	254,598

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「個別貸倒引当金(C)」は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
7. 「一般貸倒引当金(D)」には、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
8. 「担保・保証等(E)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額および保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
9. 「正常債権(F)」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「要管理債権」以外の債権です。
10. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還および利息の支払の全部または一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息および仮払金ならびに債務保証見返の各勘定に計上されるものならびに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借または貸貸借契約によるものに限る。)です。

# 業 務 の 概 要

## 1 総代会

### 通常総代会

2022年6月28日（火）に開催しました、第110期通常総代会におきまして、下記の議案を付議し、原案どおり承認可決されました。

**報告事項** 第110期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）業務報告、貸借対照表、損益計算書および附属明細書の内容報告の件

### 決議事項

第1号議案 「剰余金処分案承認」の件

第2号議案 「定款改定」の件

第3号議案 「任期満了に伴う理事選任」の件

第4号議案 「任期満了に伴う監事選任」の件

第5号議案 「役員賞与支給」の件

第6号議案 「退任理事および退任監事に対し退職慰労金贈呈」の件

## 2 登記事項

2022年4月1日登記

2022年3月31日現在の出資口数および出資総額を次のとおり変更いたしました。

総 口 数 35,547,632口

払込済出資総額 1,777,381,600円

## 3 その他のおもな事項

(1) お客様のニーズに対応するため、下記業務の取扱いを開始いたしました。

○ 2022年4月1日

◆投資信託新商品（3商品）

・グローバル5.5バランスファンド（1年決算型）

- ・HSBCインドオープン
- ・グローバル・メタバース株式ファンド
- ◆SDGs定期預金「おかやましんきん 未来へつなぐ2022」
- 2022年7月1日
  - ◆「おかやましんきんベストパートナー2022」
- 2022年7月19日
  - ◆保険新商品（1商品）
    - ・おおきな、まごころ2
- 2022年8月31日
  - ◆LINE公式アカウントの開設
- 2022年10月3日
  - ◆投資信託新商品（3商品）
    - ・東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド（毎月決算型）
    - ・メディカル・サイエンス・ファンド
    - ・インデックスファンドS&P500（アメリカ株式）
  - ◆クラウドファンディング特設ページ「カムカムおかやま」
  - ◆法人向けローン「おかやましんきんビジネスローン（夢応援団）」
- 2022年12月1日
  - ◆「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期2023SEASON」

(2) お客様などを対象に以下の行事を実施いたしました。

- 若手経営者の会「おかやまPRODUCE」の活動
    - ・セミナー、ミーティングなどの定例会（計5回開催）
    - ・結成10周年特別講演（講師：桑田理事長）
    - ・結成10周年記念講演（講師：池上彰氏）
    - ・県外企業視察（徳島県徳島市、鳴門市）
- ※（「おかやまPRODUCE」2023年3月末現在会員数120名）



- 「経営者向け助成金・補助金オンライン説明会」の開催  
(参加事業者数19社20名)
- 「インボイスセミナー」の開催 (参加事業者数13社14名)
- 第16回岡山県しんきん合同ビジネス交流会の開催  
来場者数：ブース参加者1,200名、一般参加者1,300名、  
合計2,500名



- 「おかやましんきんSDGsアワード2022」の実施  
116先の応募をいただき28先が受賞



- 「第10回おかやましんきん地域活性化支援制度 “エリアサポート”」の実施  
77先の応募をいただき10先に助成金を贈呈



- 内山下スクエア、当新田支店、妹尾支店、西奉還町支店で  
のセミナー開催  
趣味や健康、セカンドライフなど幅広いテーマのセミナー  
を120回開催（参加者数延べ597名）
- 「お客様向け資産運用セミナー」を7回開催  
（参加者数延べ58名）
- 「相続・遺言信託・事業承継等相談会」を4回開催  
（参加者数20名）
- 「第27回お取引先新入社員研修会」の開催  
（参加企業28社57名）



- ファジアーノ岡山「おかやま信金デー」お客様ご招待

(3) 地域貢献活動などを下記のとおり実施いたしました。

- 私募債発行金額の0.2%相当額の商品などを私募債発行事業者様が希望した先に寄贈する「おかやましんきんSDGs寄付型私募債」について、2022年度は3先に発行し、学校などに物品などを寄贈いたしました。



○ 「信用金庫の日」の活動

・ 清掃活動

2022年6月1日～15日に各営業部店の職員が自店舗の周辺を清掃いたしました。



・ 献血

2022年6月15日に本店にて当金庫役職員による献血を実施いたしました。



- 「SDGs」に基づく地域創生支援事業推進実行委員会は、水質浄化の取組みとして、おかやまPRODUCE会員が共同開発した浄化装置を倉敷市の貯水池に設置し、浄化の過程や効果を検証いたしました。



- 「おかやましんきんファジアーノ岡山応援定期2022 SEASON」のお預入総額が一定の金額に達したことから、「ファジアーノ岡山」にチーム強化資金として300万円を寄贈いたしました。



- (4) 2022年4月18日に西奉還町支店（岡山市北区奉還町4-18-21）をリニューアルオープンいたしました。



(5) 店舗の統廃合

- 2022年11月14日に浦安支店を豊成支店へ統合いたしました。
- 2023年1月16日に青江支店を豊成支店へ統合いたしました。

## 各種相談窓口

### 中小企業者等の金融円滑化に向けたご相談および苦情相談窓口の設置について

中小企業者からの新規案件や事業性融資資金に係る貸付条件の変更などに関する相談・申込み、また、住宅資金に係る貸付条件の変更などに関する相談・申込みに関する苦情相談を適切におこなうため、以下のとおり専用相談窓口を設置しております。

- 電話・メールによる専用相談窓口
  - フリーダイヤル：0120-173-550
  - 受付時間：平日 午前9時～午後5時
  - メールアドレス：enkatsu@okayama.shinkin.jp
  - 対応部署：価値創造部
- 各営業部店相談窓口
  - 設置場所：全営業部店
  - 窓口での相談受付時間：平日 午前9時～午後3時
  - 電話による相談受付時間：平日 午前9時～午後5時

### 「振り込め詐欺救済法」に関する被害者専用窓口の設置について

「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」（いわゆる「振り込め詐欺救済法」）が2008年6月21日に施行されました。これを受けて、振り込め詐欺などの犯罪被害資金を、当金庫の口座に振り込んだ方からの電話を受け付ける専用窓口を設置しております。この法律では、振り込め詐欺などの犯罪に利用された口座を凍結して、残っている犯罪被害金を、被害者の方へ分配する手続きなどが定められております。

最終的な分配までには、口座名義人の預金債権消滅手続や、分配金支払申請受付手続などをおこなうこととなっております。被害のお申出を承り、実際に被害資金返還手続がおこなわれる際に連絡を差し上げる取り扱いとなります。振込みをおこなった時の「振込控」「請求書」「チラシ」などは大切に保管してください。

- フリーダイヤル：0120-173-051
- 受付時間：平日 午前9時～午後5時
- 担当部署：コンプライアンス部

### 金融ADR制度への対応について

#### 【苦情処理措置】

当金庫は、お客様からの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレットなどで公表しております。

苦情は、当金庫営業日（午前9時～午後5時）に営業部店またはお客様相談室（電話番号086-223-7682）にお申し出ください。

証券業務に関する苦情は、当金庫が加入する日本証券業協会から苦情の解決業務などの委託を受けた「特定非営利活動法人証券・金融商品あつせん相談センター（ADR FINMAC）」（電話番号0120-64-5005）でも受け付けております。

#### 【紛争解決措置】

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記お客様相談室にお申し出があれば、岡山弁護士会岡山仲裁センター（電話番号086-223-4401）にお取次ぎいたします。また、お客様から直接お申し出いただくことも可能です。

証券業務に関する紛争は、当金庫が加入する日本証券業協会から紛争の解決のあつせんなどの委託を受けた上記「特定非営利活動法人証券・金融商品あつせん相談センター（ADR FINMAC）」でも受け付けております。

## お客様の声をお聞かせください。

お客様の当金庫に対するご要望や満足度など率直なご意見をお聞かせください。私どもは「お客様の声」を大切にし、より一層満足いただける金融機関へと成長できるよう努めてまいります。

お客様アンケートの回答は  
こちらからお願いいたします。

<https://forms.gle/888sHbbrC58opAsM6>



ご入力いただきました個人情報につきましては、お客様の同意なく第三者に開示することはございません。

また、ご回答内容につきましては、当金庫の業務改善やサービス向上の目的にのみ利用させていただきます。

いつも、あなたと。  
おかやま信用金庫



■本部

経営企画部	(086)223-7130
市場金融部	(086)223-7112
総務部	(086)223-7475
事務統括部	(086)223-7687
与信統括部	(086)223-7429
価値創造部	(086)223-7672
監査部	(086)223-7683
コンプライアンス部	(086)223-7129
◆お客様相談室	(086)223-7682

●中央地区

本店営業部	(086)223-7721
内山下支店	(086)225-0911
野田屋町支店	(086)223-0146

●東地区

旭東支店	(086)272-5261
瀬戸支店	(086)952-0063
東岡山支店	(086)279-0550
操山支店	(086)276-0777
松新町支店	(086)942-8888
藤原支店	(086)273-6611
平井支店	(086)277-4841
西大寺支店	(086)943-3800

●西地区

大元支店	(086)243-5111
中庄支店	(086)426-6222
藤田支店	(086)296-4611
妹尾支店	(086)282-1101
辰巳支店	(086)241-7756

●南地区

福島支店	(086)262-2201
操南支店	(086)276-1234
三浜町支店	(086)262-1211
当新田支店	(086)241-6661
豊成支店	(086)263-1131

●北地区

金川支店	(086)724-0620
横井支店	(086)294-3456
西奉還町支店	(086)252-3178
津島支店	(086)252-8951
吉備支店	(086)293-0511

●玉野地区

琴浦支店	(086)472-0388
和田支店	(0863)81-8030
荘内支店	(0863)71-1515
東児支店	(0863)33-1531
玉野営業部	(0863)31-1711

(2023年7月現在)